＊＊2020 年 8 月 1 日(第 5 版)
＊2020 年 1 月 1 日(第 4 版)

届出番号：11B1X00023000014

器０６呼吸補助器
一般医療機器･特定保守管理医療機器　高圧ガスレギュレータ 35300000

＊エマジン減圧弁
「S-40-FH」/「S-40-FH-JM」/「S-32-4」

TP－114

＊【警告】
- 充填圧 14.7MPa 以下の酸素容器（医療用酸素）を使用してください。
- 医療用酸素は医薬品販売業者よりお求めください。
- 酸素容器のバルブを急激に開栓しないでください。（発火の危険性があります。）
- 酸素容器と各併用医療機器の接続の際は、接続部に異物が混入しないようにしてください。
- 各併用医療機器及び接続部から発火や異臭がある場合は直ちに酸素容器のバルブを閉じてください。
- 医療用酸素に異臭を感じたときは使用を中止してください。

［使用方法］
- 使用前に機能テストを行い、正常な作動を確認してください。
- 使用後は酸素容器のバルブを閉めてください。本器の流量調節つまみを閉めても酸素供給は完全には止まりません。
- 流量調節つまみを回す際や構成品を接続する際は、無理な力を加えないでください。

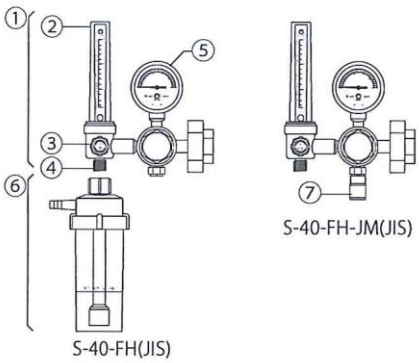
［併用医療機器］
- 酸素マスクや酸素カニューラを併用する時は、確実に接続されている事を確認してください。
- 酸素マスクや酸素カニューラからの酸素流出を確認し、患者に装着してください。
- 蘇生器等と併用の場合は、蘇生器等の流量限界を厳守してください。

【禁忌・禁止】
- 異なる機種の構成品を接続しないでください。
- 有害な空気の中で使用しないでください。
- 酸素中に油が混入する様な環境下で使用しないでください。
- 煙草や裸火のそばで使用しないでください。

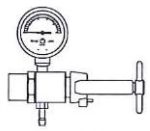
【形状・構造及び原理等】

形状・構造

＜流量調節型＞
①エマジン減圧弁（本器）　②ゲージ管　③流量調節つまみ
④アウトレット　⑤高圧ゲージ
⑥湿潤器（加湿瓶）※S-40-FH、JM(JIS)のみ付属
⑦アウトレット（ＪＭカプラ）



＜流量調節機能無し＞



原理

酸素容器に充填された高圧酸素ガスは本器で低圧力 392kPa（S-32-4 は 196kPa）に減圧され、アウトレットに供給される。
高圧ゲージには酸素容器内の残量が指示される。

仕様

調整圧力：392kPa±10%
調整流量：1.5～15L/min（流量調節型）

〔S-32-4〕
調整圧力：196kPa±10%
流　　量：4L/min±10%

【使用目的又は効果】

本器は、医療用酸素容器に接続し、高圧酸素ガスを低圧力に減圧させ、酸素吸入や人工呼吸器の動力源として使用する。

【使用方法等】

準備
1)本器の酸素容器接続部に適合する、酸素容器（充填圧：14.7MPa 以下）を用意してください。
2)酸素容器を安定した場所へ設置してください。
3)本器の酸素容器接続部と酸素容器を接続してください。
4)酸素マスク、酸素カニューラ等の併用医療機器を接続してください。
＜湿潤器を接続する場合＞
4)湿潤器用キャップを外してください。
5)湿潤器用ボトルのウォーターライン（ＷＡＴＥＲ　ＬＩＮＥ）まで精製水を入れてください。
6)湿潤器用ボトルに、湿潤器用キャップを接続してください。
7)本器に、湿潤器（加湿瓶）〔併用医療機器〕を接続してください。
8)湿潤器（加湿瓶）に、酸素マスク、酸素カニューラ等の併用医療機器を接続してください。

使用方法
1)酸素容器のバルブを開けてください。
2)接続した併用医療機器に、酸素が供給されていることを確認してください。
＜流量調節型＞
2)本器の流量調節つまみを開け、適量流量を設定してください。
3)接続した併用医療機器に、酸素が供給されていることを確認してください。

使用後の取扱いについて
1)酸素容器のバルブを閉めてください。
2)接続された併用医療機器の取扱説明書等に従った取扱いを実施してください。
＜流量調節型＞
2)本器の流量調節つまみを開け、本器内部の酸素を放出してください。
3)本器の流量調節つまみを閉めてください。
4)接続された併用医療機器の取扱説明書等に従った取扱いを実施してください。

＊【使用上の注意】
- 高圧ゲージの針がゼロ(0MPa)を指していない時には、酸素容器と本器の接続を緩めないでください。
- 酸素容器の酸素充填量を高圧ゲージで確認し、残量が少なくなった場合(充填圧：5MPa 以下)は医療用酸素を充填してください。
- 本器に圧を掛け続けると故障の原因になるため、使用後は本器内の酸素を排出し、高圧ゲージをゼロ(0MPa)にしてください。
- 構成品、オプション品を接続する場合は、その互換性、安全性を確認した上で使用してください。

＜流量調節型＞
- 本器は垂直（ゲージ管が上）に設置してください。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

水のかかる場所、高温多湿の場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。

耐用期間

６年（自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

・使用前に本体が清潔であることを確認する。
・使用前に破損や汚れがないことを確認する。
・使用前に作動することを確認する。

業者による保守点検事項

・一年毎に破損や汚れがないことを確認する。
・一年毎に作動することを確認する。

洗浄・消毒

・本器は洗浄できません。
・湿潤器は分解して洗浄してください。
［湿潤器推奨薬剤］
・消毒用アルコール
・次亜塩素酸ナトリウム
※使用後は薬剤を洗い流してください。
※両性界面活性型外用殺菌消毒剤等の薬液は使用しないでください。

＊＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

ブルークロス株式会社
ＴＥＬ：０４９－２４３－９９３９
www.bluecross-e.co.jp

販売業者（販売店）